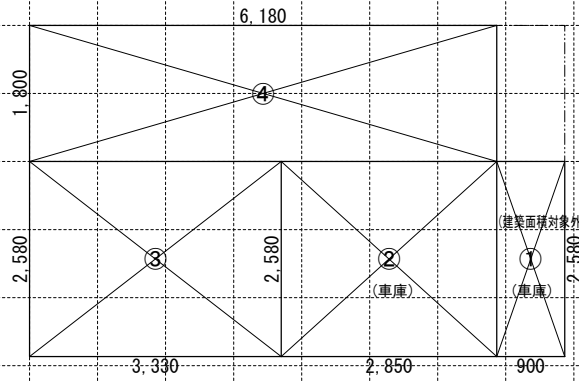


凡例（注記）

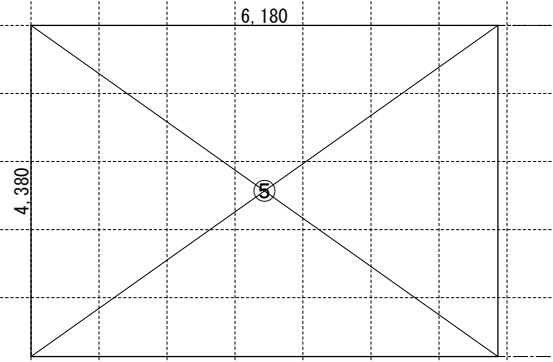
- ⊗====> 汚水最終枺（下水道管へ放流）
- 敷地境界線上の丸は、RC杭、石杭、金属標、金属錠等を示す
- 屋根先端の点線は、雨樋を示す（屋根先端+100）
- 給水経路、排水経路は、設備図による
- 隣地斜線制限：斜線立上り高さ31M（建物高さ：8.890M）
- 各部分の高さ表示は、地盤面±0（設計GL±0）からの高さ
- 延焼線の表示は、平面図による

【記載以外の門、塀等の外構なし】
 【盛土規制法に係る盛土、切土なし】
 【建築基準法施行令第130条の12に適法】
 【敷地内のCB塀は、建築基準法施行令第62条の8に適法】

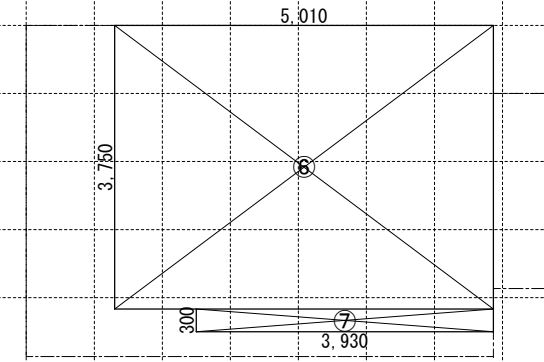
一級建築士事務所 ~LIFE CORE~ 想建設計 一級建築士 第234878号 荷川取 武正	設計年月日	承認	設計	担当	工事名称 スマイルファミリー 四つ木5丁目 A号棟 新築工事
					図面名称 配置図 (3階建)
					縮尺 1/100
					No.



1階求積図 1/100



2階求積図 1/100



3階求積図 1/100

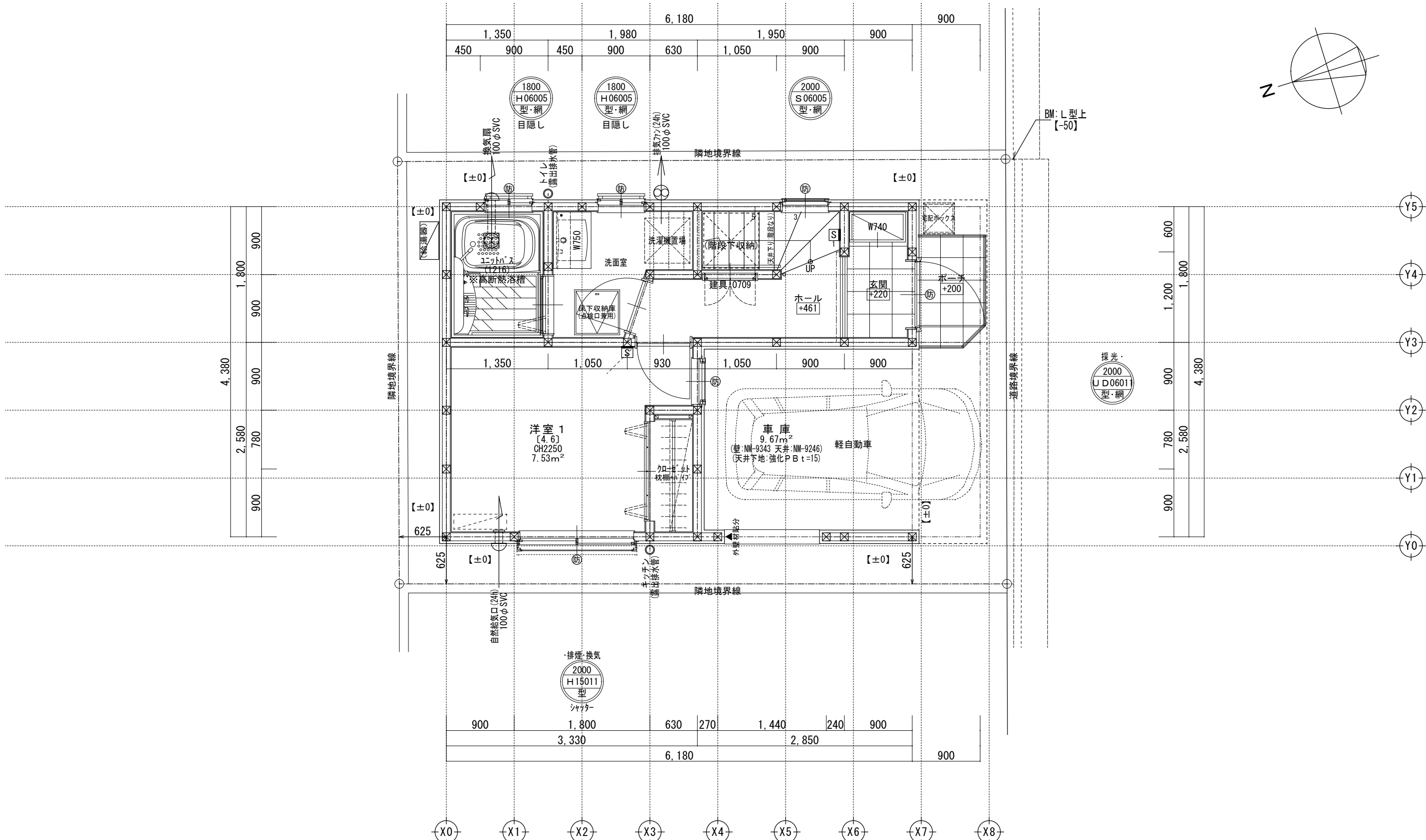
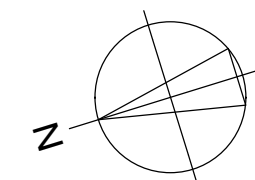
【床面積求積算定式】 ① 0.900×2.580=2.3220
② 2.850×2.580=7.3530

③ 3.330×2.580=8.5914
④ 6.180×1.800=11.1240

⑤ 6.180×4.380=27.0684

⑥ 5.010×3.750=18.7875
⑦ 3.930×0.300=1.1790

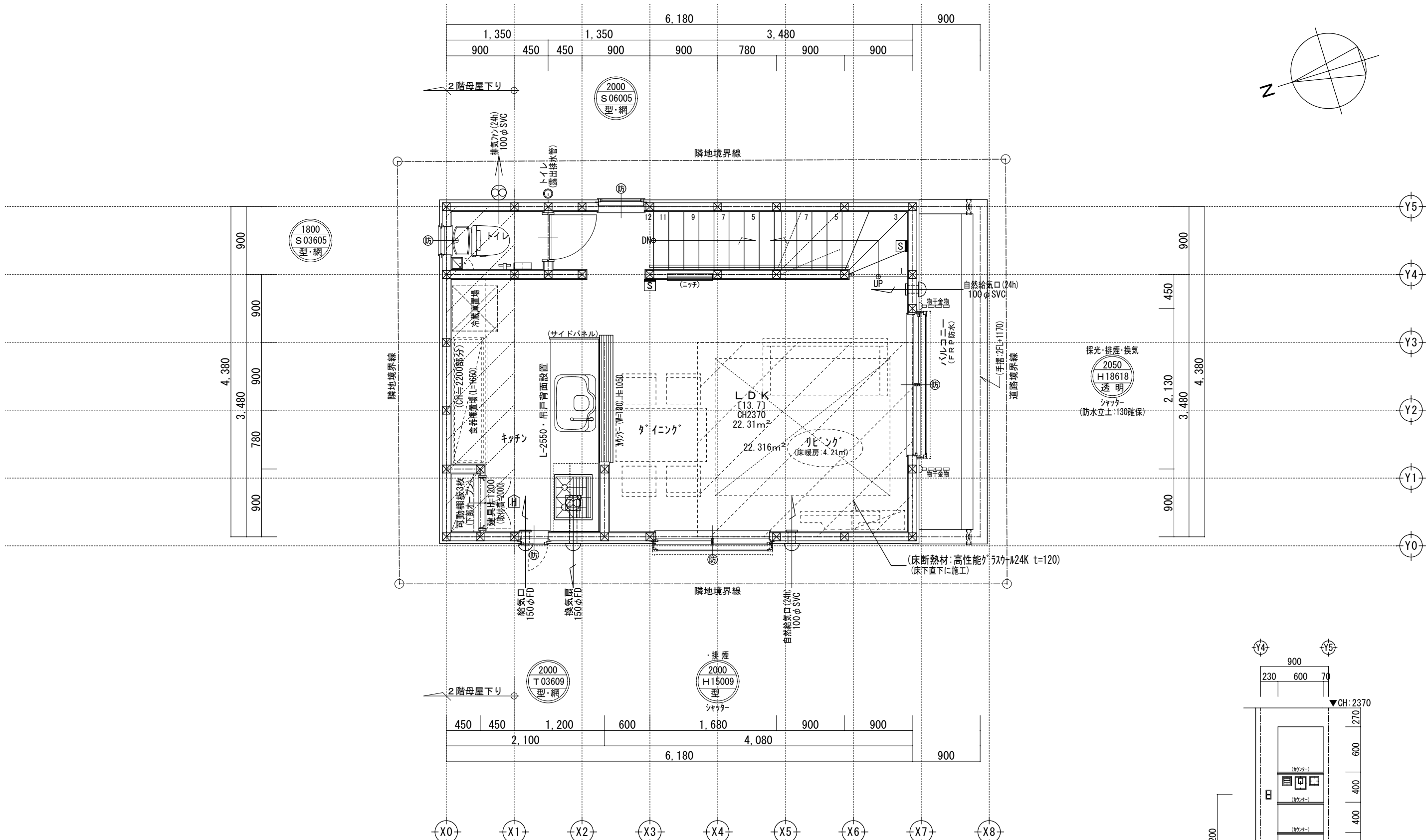
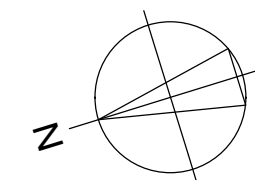
《建物概要》	《凡例》	《準耐火構造の仕様一覧表》	《面積表》
東京都葛飾区四つ木5丁目1745番5	防火設備: 国土交通大臣認定品	屋根/30分 (バルコニー/30分) (告示1358号)	敷地面積 45.31 m ² 13.70 T
用途地域: 準工業地域	給気口 150φ FD (設置高さ: 中心FL+400)	外壁/45分 (外側) 防火サ行'イ' t=14 (準耐火: QF045BE-9226) (内側) 石膏'ト' t=15	建築面積 27.06 m ² 8.18 T ② ~ ④
建ぺい率: 指定 60% (準耐火構造: 70%)	換気扇 100φ SVC (換気扇 150φ FD)	軒裏/45分 繊維混入けい酸加'イ'板 t=14 (準耐火: QF045RS-0084)	1階床面積 29.39 m ² 8.89 T ① ~ ④
容積率: 指定 200%	埋込'ミ'型'タ'外換気扇 100φ SVC (埋込'ミ'型'タ'外換気扇 150φ FD)	間仕切壁/45分 両面石膏'ト' t=15 (45分準耐火告示仕様)	(1階容積対象床面積) 19.72 m ² 5.96 T ③ ~ ④
防火指定: 準防火地域	給湯器	床(洋室)/45分 (表側) 構造用合板 t=24 + フ'ロ'リング t=12 (告示1358号) (裏側) 強化石膏'ト' t=15 (不燃: NM-8615)	2階床面積 27.06 m ² 8.18 T ⑤
高度地区: 第2種高度地区	24時間換気用自然給気口 100φ SVC (設置高さ: FL+1600以上)	床(和室)/45分 (表側) 畳 t=55 + 石膏'ト' t=9 + 構造用合板 t=24 (裏側) 強化石膏'ト' t=15 (不燃: NM-8615)	3階床面積 19.96 m ² 6.03 T ⑥ ~ ⑦
日影規制: 5.0h・3.0h (+4.0M)	24時間換気用排気'フ'ン 100φ SVC (風量: 7.0 m ³ /h 以上)	梁/45分 (告示1358号) 強化石膏'ト' t=15 (不燃: NM-8615)	延床面積 76.41 m ² 23.11 T ① ~ ⑦
《階段概要》	天井設置 壁設置	階段/30分 (告示1358号) (階段材) 踏み板: 集成材 t=30 側板: 集成材 t=30 (段板裏側) 強化石膏'ト' t=15 (側板外、屋内側) 石膏'ト' t=15 (側板外、屋外側) 防火サ行'イ' t=14 (準耐火: QF045BE-9226)	自動車庫床面積 9.67 m ² 2.92 T ① ~ ②
1階~2階: 踏面 200.00 mm 蹴上 217.50 mm 有効幅 765 mm	天井設置	※防火被覆/取合部・目地部ハ内部へ炎進入防止トシテ 表面ニ当木ヲ設ケテ防火被覆ガ有効ニ機能スル構造トスル	容積率対象床面積 66.74 m ² 20.18 T ② ~ ⑦
2階~3階: 踏面 200.00 mm 蹴上 212.30 mm 有効幅 765 mm	《内装制限》 LDK・階段室	《採光・排煙・換気》	車庫等面積検討: 76.41 m ² ÷ 5 = 15.28 m ² ≥ 9.97 m ² ... 容積不算入
※廻り階段ハ、内法300mmカラ/踏面150mm以上トスル。 ※手摺/設置ニヨリ階段有効幅力'確保'ナ'キイ場合ハ、手摺幅ヲ100mm以下トスル。	ポーチ・バルコニー (天井下地: 強化PB t=15)	LDK 必要採光面積 22.31 ÷ 7 = 3.187 有効採光面積 (1.86 × 1.80 × 3.0) = 10.044 必要排煙面積 22.31 ÷ 50 = 0.446 有効排煙面積 (1.86 × 0.480 ÷ 2) + (1.50 × 0.43 ÷ 2) = 0.768 必要換気面積 22.31 ÷ 20 = 1.115 有効換気面積 (1.86 × 1.80 ÷ 2) = 1.674	
《小屋裏換気算定》	天井: 繊維混入けい酸加'イ'板 t=14 (準耐火: QF045RS-0084) 壁: 防火サ行'イ' t=14 (防火: QF045BE-9226)	洋室1 必要採光面積 7.53 ÷ 7 = 1.075 有効採光面積 (0.60 × 1.10) × 3.0 × 0.7 = 1.386 必要排煙面積 7.53 ÷ 50 = 0.150 有効排煙面積 (1.50 × 0.580 ÷ 2) = 0.435 必要換気面積 7.53 ÷ 20 = 0.376 有効換気面積 (1.50 × 1.10 ÷ 2) = 0.825	
換気棟 有効排気面積: 2P(1800)=0.024m ² 1P(900)=0.012m ²	天井: 繊維混入けい酸加'イ'板 t=14 (準耐火: QF045RS-0084) 壁: 防火サ行'イ' t=14 (防火: QF045BE-9226)	洋室2 必要採光面積 8.12 ÷ 7 = 1.160 有効採光面積 (1.65 × 1.80) × 3.0 = 8.910 必要排煙面積 8.12 ÷ 50 = 0.162 有効排煙面積 (1.65 × 0.580 ÷ 2) = 0.478 必要換気面積 8.12 ÷ 20 = 0.406 有効換気面積 (1.65 × 1.80 ÷ 2) = 1.485	
軒先換気: 有効面積 = 0.007m ² (1P=900) (棟ト'コ'ニ: 軒'ト'換気)	天井: 繊維混入けい酸加'イ'板 t=14 (準耐火: QF045RS-0084) 壁: 防火サ行'イ' t=14 (防火: QF045BE-9226)		
軒裏換気: 有効面積 = 0.014m ² (1P=900) 神島化学工業株: ABK45	天井: 繊維混入けい酸加'イ'板 t=14 (準耐火: QF045RS-0084) 壁: 防火サ行'イ' t=14 (防火: QF045BE-9226)		
壁付換気: 有効面積 = 0.0170m ² 150φFD付き	天井: 繊維混入けい酸加'イ'板 t=14 (準耐火: QF045RS-0084) 壁: 防火サ行'イ' t=14 (防火: QF045BE-9226)		
(主屋根) 必要排気面積 19.96 ÷ 1600 = 0.0124 有効排気面積 0.012 × 2 = 0.0240 必要吸気面積 19.96 ÷ 900 = 0.0221 有効吸気面積 0.007 × 12 = 0.084	《平均地盤面算定》		
(下屋根) 必要吸気排気 7.10 ÷ 250 = 0.0284 有効吸気排気 (0.007 × 4.8) = 0.0336			



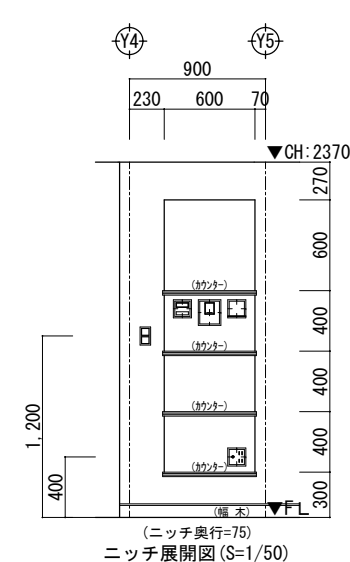
- 二重丸ペアガラス・単丸シングルガラス
 FLからのサッシ上部高さ(200cm)
 サッシ幅(60cm)
 サッシ高さ(110cm)
 ガラス種類
 サッシ種類
- サッシ記号凡例
- | | |
|----|----------------|
| H | : 引き違い |
| UD | : 上げ下げ |
| S | : 横すべり出し |
| T | : 縦すべり出し |
| F | : フィックス |
| J | : ガラスルーバー |
| TD | : テラスドア(1枚ガラス) |
| KD | : 採風勝手ロドア |
- ※サッシ記号の幅・高さ寸法は内法する。
 ※各居室から直通階段までの最長歩行距離は、50m以内

[Hatched Box]: 控え壁(重量CB・高さ:塀の高さ-200・ピッチ:3400以下)
 ※水道メーター蓋色:ホワイト ※散水栓蓋色:ブラック ※24時間給気口設置高さ:1700 ※排水管は露出配管 ※シャッター雨戸は全て手動 ※1階外壁面は全て延焼ライン内

一級建築士事務所 ~LIFE CORE~ 想建設計 一級建築士 第234878号 荷川取 武正	設計年月日	承認	設計	担当	工事名称 スマイルファミリー 四つ木5丁目 A号棟 新築工事	
					図面名称 1階平面図	縮尺 1/50



採光・排煙・換気
2050
H18618
透明
シャッター
(防水立上:130確保)



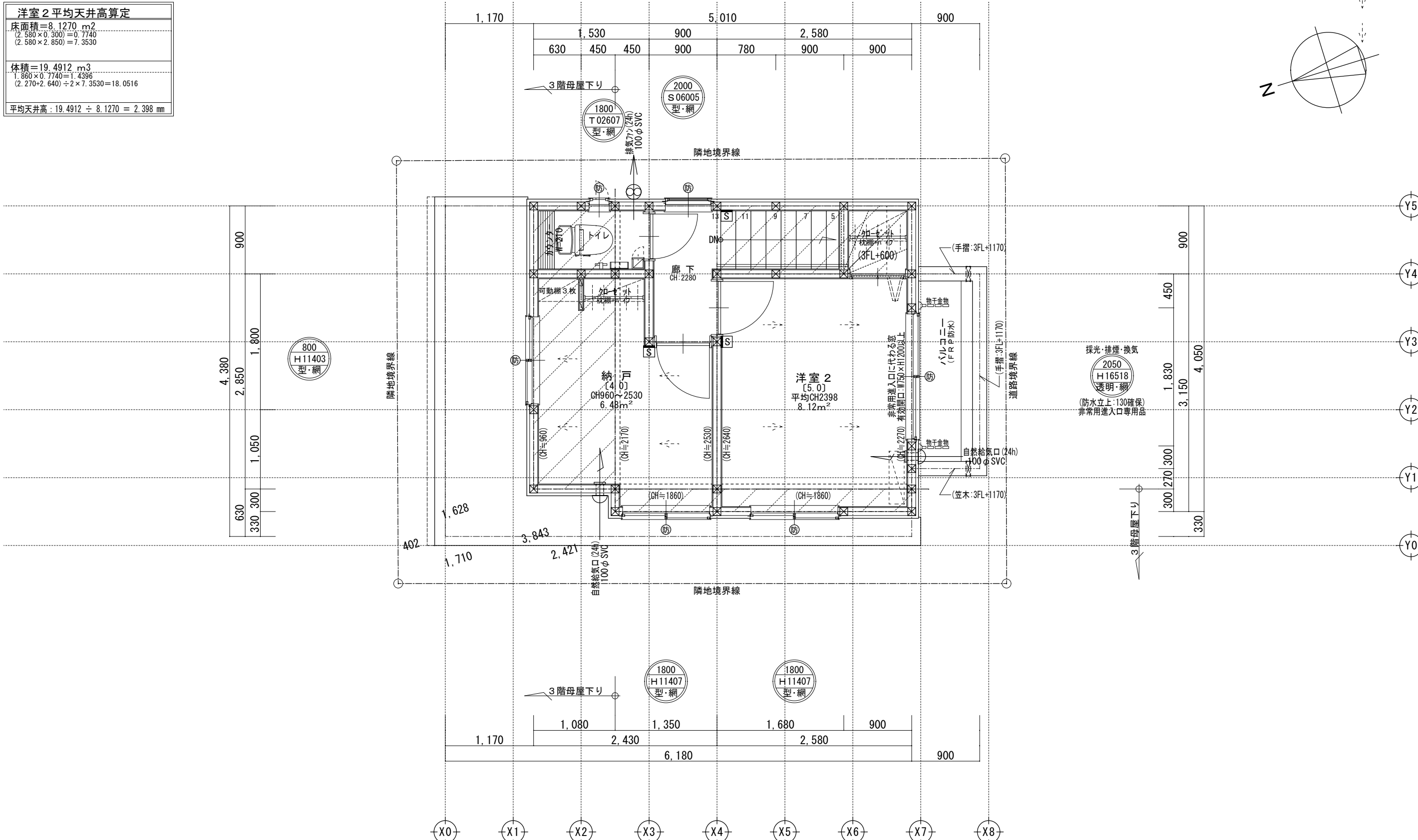
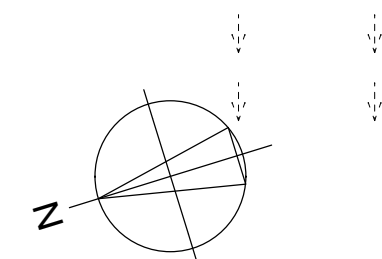
二重丸・ペアガラス・単丸・ツグガラス	H: 引き違い
FLからのサッシ上部高さ(200cm)	UD: 上げ下げ
サッシ幅(60cm)	S: 横すべり出し
サッシ高さ(110cm)	T: 縦すべり出し
ガラス種類	F: フィックス
サッシ種類	J: ガラスルーバー
	TD: テラスドア(一枚ガラス)
	KD: 採風勝手口ドア

※サッシ記号の幅・高さ寸法は内法する。
※各居室から直通階段までの最長歩行距離は、50m以内

※24時間給気口設置高さ:1700 ※シャッター雨戸は全て手動 ※排水管は露出配管 ※2階床構造用合板30mm ※2階外壁面は全て延焼ライン内

一級建築士事務所 ~LIFE CORE~ 想建設計 一級建築士 第234878号 荷川取 武正	設計年月日	承認	設計	担当	工事名称 スマイルファミリー 四つ木5丁目 A号棟 新築工事 図面名称 2階平面図	縮尺 1/50	No.
---	-------	----	----	----	--	------------	-----

洋室 2 平均天井高算定
床面積=8.1270 m ² (2.580×0.300)=0.7740 (2.580×2.850)=7.3530
体積=19.4912 m ³ 1.860×0.7740=1.4396 (2.270+2.640)÷2×7.3530=18.0516
平均天井高: 19.4912 ÷ 8.1270 = 2.398 mm



二重丸ペアガラス・単丸シングルガラス	H: 引き違い
FLからのサッシ上部高さ(200cm)	UD: 上げ下げ
サッシ幅(60cm)	S: 横すべり出し
サッシ高さ(110cm)	T: 縦すべり出し
ガラス種類	F: フィックス
サッシ種類	J: ガラスルーバー
	TD: テラスドア(1枚ガラス)
	KD: 採風勝手口ドア

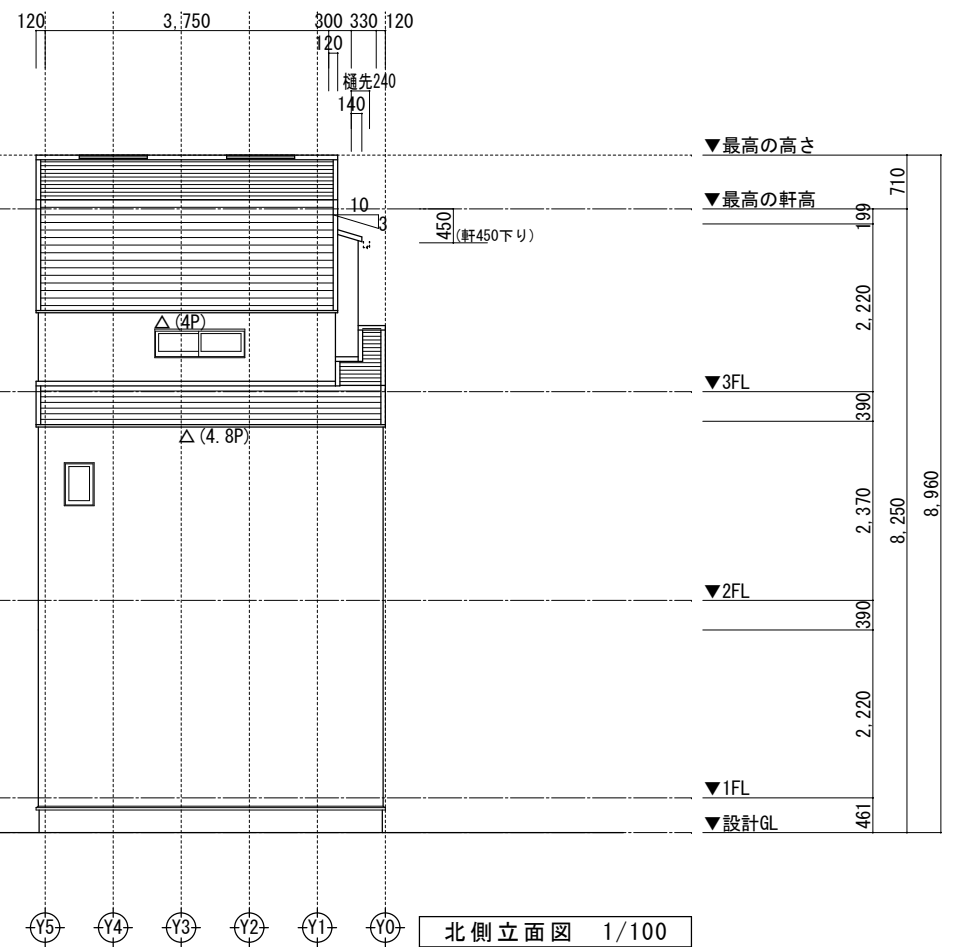
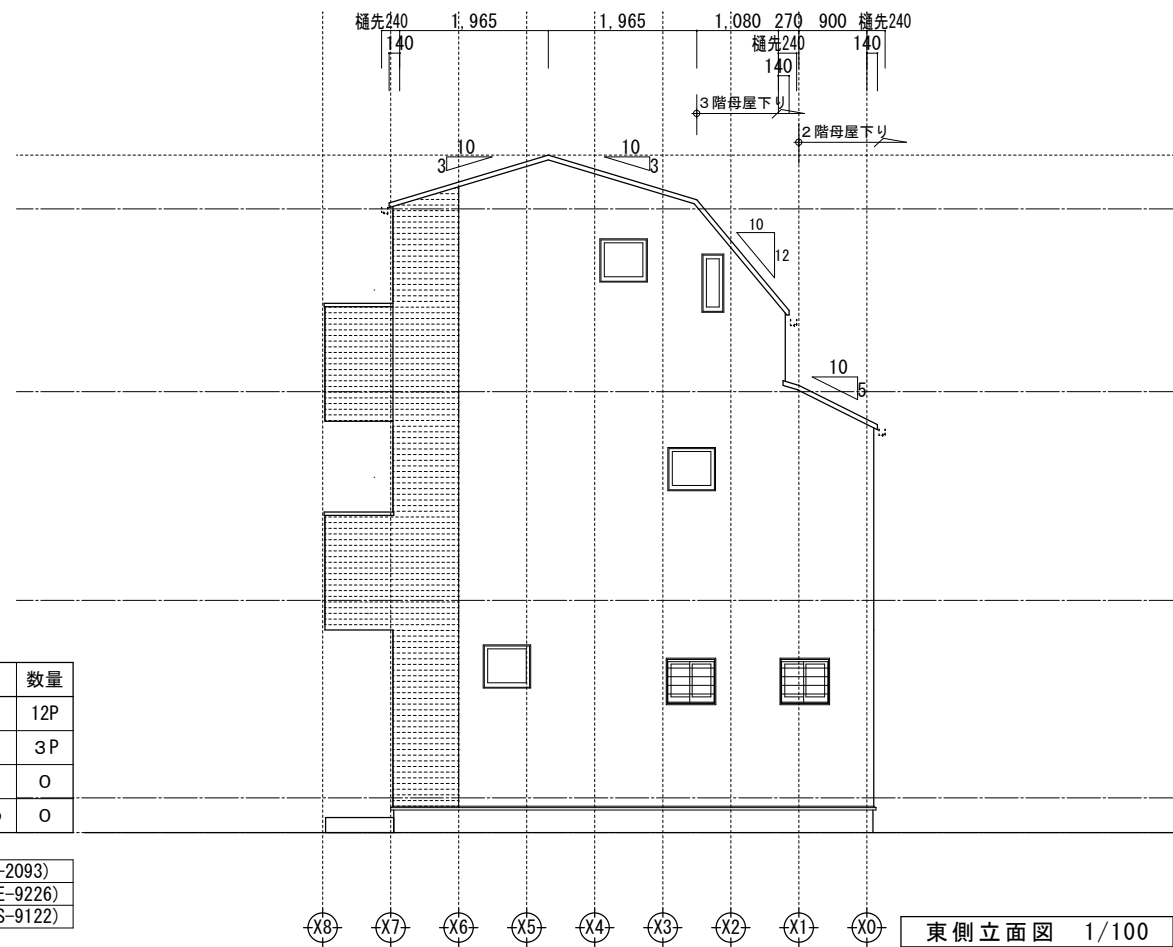
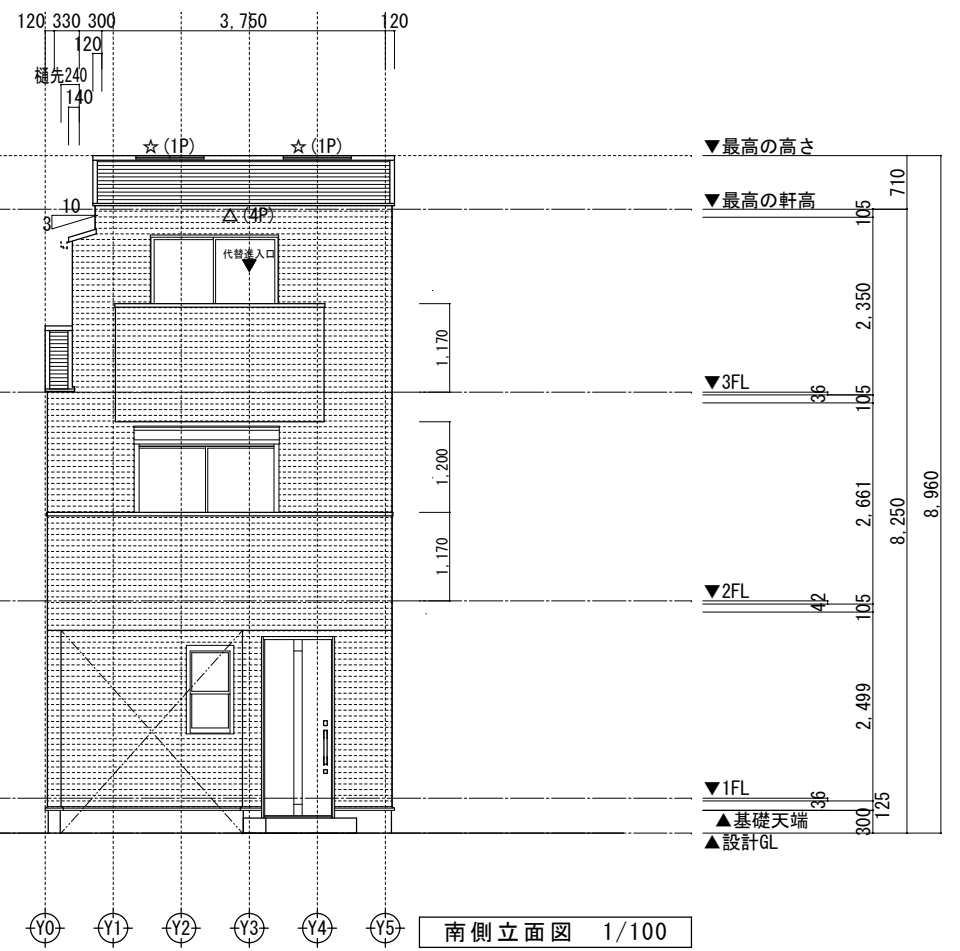
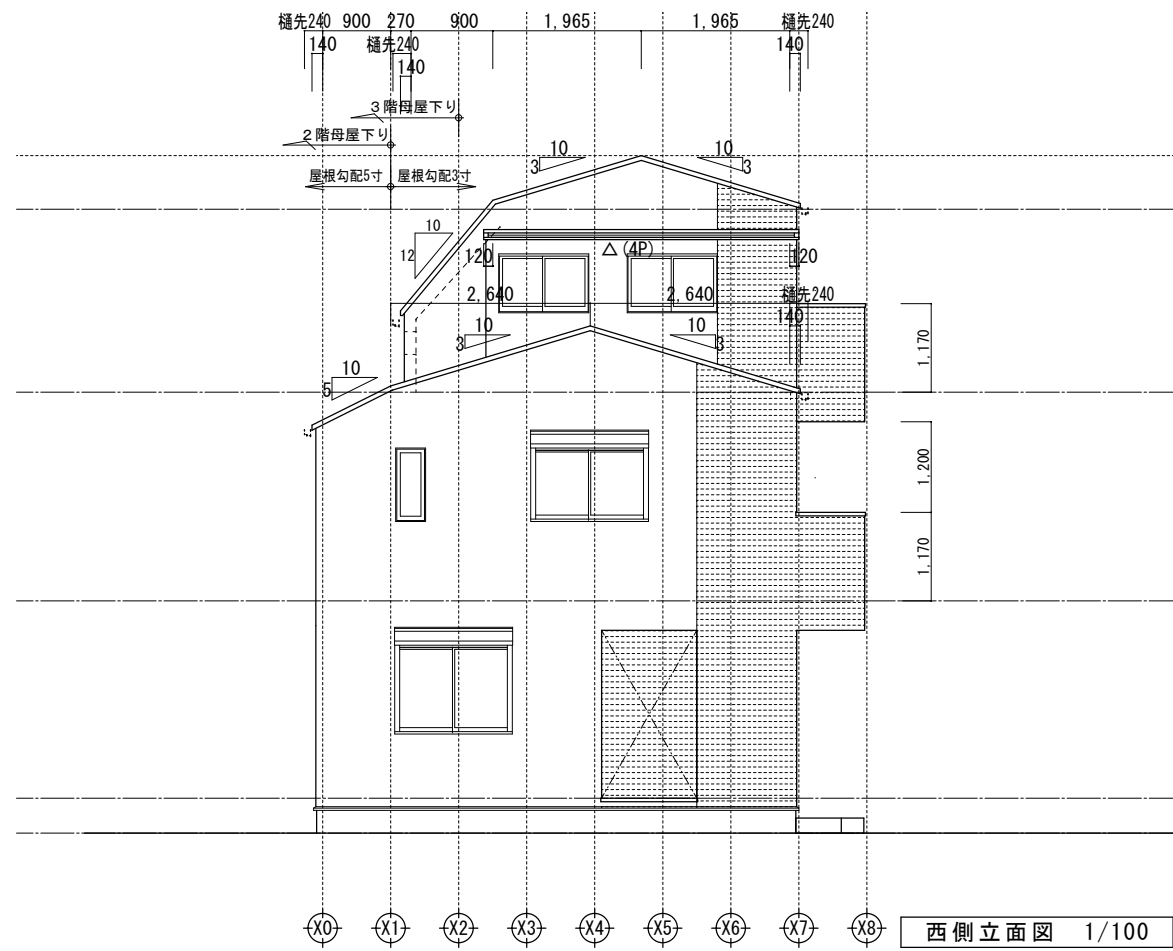
※サッシ記号の幅・高さ寸法は内法する。
 ※各居室から直通階段までの最長歩行距離は、50m以内

※24時間給気口設置高さ:1700

※シャッター雨戸は全て手動

※3階は全て延焼ライン内

一級建築士事務所 ~LIFE CORE~ 想建設計 一級建築士 第234878号 荷川取 武正	設計年月日 承認 設計 担当	工事名称 スマイルファミリー 四つ木5丁目 A号棟 新築工事	
		図面名称 3階平面図	縮尺 1/50

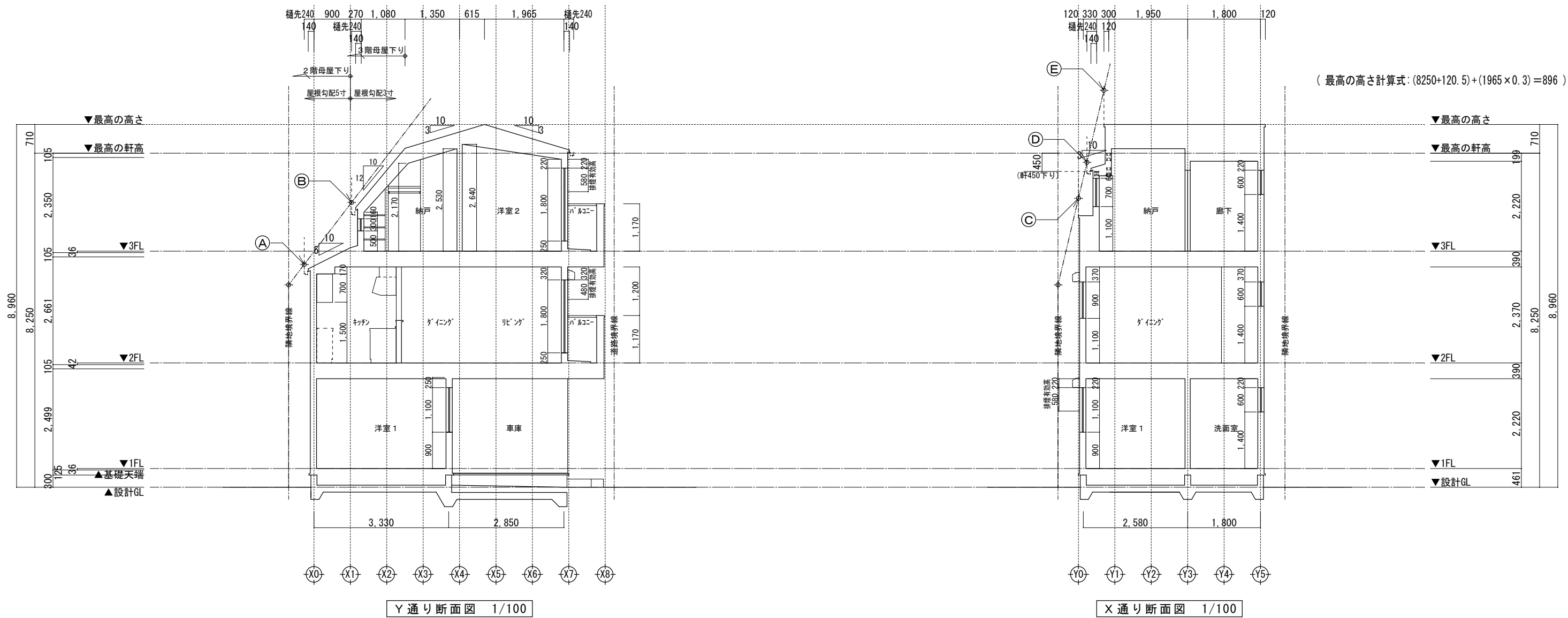


小屋裏換気凡例	数量
△ 軒ゼロ換気:1P=900	12P
☆ 棟換気:1P=900	3P
▲ 軒裏換気:ABK45	0
◎ 壁付換気ガラリ:150φ	0

- 【屋根】 無石綿スレート板葺き (NM-2093)
- 【外壁】 防火サイディング (QF045BE-9226)
- 【軒裏】 防火サイディング (QF045RS-9122)

※軒の寸法表示には、雨樋の寸法100mmは含まない。
 ※雨樋(横樋)の取り付け位置は、屋根勾配の延長線以下とする。
 ※最高の軒高さから上の小屋組は、東立ととする。

一級建築士事務所 ~LIFE CORE~ 想建設計 一級建築士 第234878号 荷川取 武正	設計年月日	承認	設計	担当	工事名称 スマイルファミリー 四つ木5丁目 A号棟 新築工事	
					図面名称 立面図	縮尺
					1/100	No.



(最高の高さ計算式: $(8250+120.5)+(1965 \times 0.3) = 896$)

Y通り断面図 1/100

X通り断面図 1/100

高度斜線 A

地盤面からの斜線制限 $(402 \times 1.25) + 5000 = 5502.50$
 設計GLからの樋先高 $(8250 - 105 - 2350 + 120) - (1140 \times 0.5) = 5345$
 クリアランス: 157.50 mmOK

高度斜線 C

設計GLからの樋先高 $(1710 \times 1.25) + 5000 = 7137.50$
 地盤面からの斜線制限 $(8250 - 105 - 2350 + 120) + (2640 \times 0.3) = 6707$
 クリアランス: 430.50 mmOK

高度斜線 B

地盤面からの斜線制限 $(1628 \times 1.25) + 5000 = 7035$
 設計GLからの樋先高 $(8250 + 200) - (1320 \times 1.2) = 6866$
 クリアランス: 169.00 mmOK

高度斜線 D

地盤面からの斜線制限 $(2421 \times 1.25) + 5000 = 8026.25$
 設計GLからの樋先高 $(8250 - 450 + 120) - (240 \times 0.3) = 7848$
 クリアランス: 178.25 mmOK

高度斜線 E

設計GLからの樋先高 $(3843 \times 1.25) + 5000 = 9803.75$
 地盤面からの斜線制限 $(8250 + 120.5) - (1965 \times 0.3) = 8960$
 クリアランス: 843.75 mmOK

- ※斜線検討ポイントは、配置図による。
- ※雨樋先端寸法は、壁芯から240mm。
- ※軒の寸法表示には、雨樋の寸法100mmは含まない。
- ※雨樋(横樋)の取り付けは、屋根勾配の延長線より下とする。
- ※最高の軒高さから上の小屋組は、束立てとする。

	一級建築士事務所 ~LIFE CORE~ 想建設計 一級建築士 第234878号 荷川取 武正	設計年月日	承認	設計	担当	工事名称 スマイルファミリー 四つ木5丁目 A号棟 新築工事		
						図面名称 断面図	縮尺 1/100	No.